

地方創生関連交付金事業(平成29年度実施事業)実施結果報告
 (各交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

栃木県野木町

No	① 交付対象事業の名称	② 交付金の種類	③ 実績額 単位:円	④ 本事業における重要業績評価指標(KPI)			⑤ 本事業終了後における実績値		⑥ 外部有識者からの評価		⑦ 実績値を踏まえた事業の今後について	
				指標	指標値	目標年月	実績値	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由
1	野木町の魅力発見バスツアー	地方創生推進交付金	1,696,464	転入者数	1,329人 (5人増)	平成30年3月	1,367人 (43人増)	地方創生に相当程度効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	(主な意見) ・町外に野木町をPRするとともに、野木町の魅力が何かを分析するに あたりよい取り組みだと思 う。 ・事業内容とKPIが乖離 しているのではないかと 思われる。対象者を埼玉 だけでなく、小山市や古 河市に向けてはどうか。	事業の継続	平成29年度に2回のバ スツアーを開催した。今 回は、煉瓦窯での「れん が作り体験」を新たに 実施し、参加者から好 評をいただいたことから も、野木町の新たな魅 力を発掘することがで きたと考える。よって、 事業を継続する。
				定住促進補助金件数	79件 (4件増)	平成30年3月	96件 (21件増)					
				参加者数	65人 (10人増)	平成30年3月	60人 (5人増)					
2	ツール・ド・とちぎを核とした地方創生推進事業	地方創生推進交付金	544,000	公営レンタサイクル利用者数	57,806人 (1,096人増)	平成30年3月	62,268人 (5,558人増)	地方創生に相当程度効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった 他3件	(主な意見) ・野木町における独自 のKPIを設定し、効果検 証を行う必要があるの ではないか。	事業の継続	平成29年度に開催され た第2回大会では、野 木町が大会2日目の コースとなり、当日は コース沿道にて多くの 町民が観戦した。また、 きらり館前では地元お 囃子会による歓迎が行 われた。 今後は町内における効 果の検証を試みるとと もに、事業を継続する。
				ツール・ド・とちぎ公式HP閲覧回数	11.0万回 (9.4万回増)	平成30年3月	14.7万回 (13.1万回増)					
				外国人宿泊者数	22.4万人 (2.6万人増)	平成30年3月	22.2万人(2.4万人増)					
				観光消費額	6,290億円 (1,158億円増)	平成30年3月	6,283億円 (1,151億円増)					
3	子育て・介護・福祉・健康づくり等総合的相談窓口設置事業	地方創生拠点整備交付金	76,118,400	15歳から49歳の転出者数の減	—	H28.3	26人増 (1,131人)	事業継続により、今後地方創生の効果が見込める	総合戦略のKPI達成に有効であった 他1件	(主な意見) ・今後のソフト面の運用 による効果に期待した い。	事業の継続	平成29年度には施設 の改修工事を行った。 平成31年4月のオープ ンに向け、事業を継続 する。
				健康な高齢者の割合	—	H28.3	85.3%					
				健康づくり教室の参加者数	—	H28.3	0人					